

平成 24 年度 事業 報告

(平成 24 年 4 月 1 日から平成 25 年 3 月 31 日まで)

I. 事業報告および附属明細書

当財団は、昭和 42 年 8 月設立以来、わが国の健康上の課題である「生活習慣病」に関する事業を一貫して展開している。

平成 24 年度は、「医学研究助成」および「健康増進啓蒙活動」事業の更なる効率化と予算の有効活用に注力して、事業活動を行った。

なお、平成 23 年度末に収束した「生活習慣病集団検診」事業については、その後の問題の発生は無い。

1. 医学研究助成

第 45 回医学研究助成は、全国の大学・研究機関の研究者を対象に公募を行い、50 件の推薦応募の中から 20 研究に対して助成を行った。第 21 回特別助成の 3 研究と併せて、総額 2,450 万円の助成金を贈呈した。

第 1 回からの助成金合計は 937 件、総額 11 億 0,800 万円となった。

2. 健康増進啓蒙活動

生活習慣病の予防・啓蒙を目的とした講演会を、6 会場で開催した。

平成 24 年度の各事業の実施状況は、次頁以下のとおりである。

なお、附属明細書は補足などの項目がない為、省略する。

1. 医学研究助成

(1) 第45回「医学研究助成」

50件の推薦応募があり、選考委員会を経て20研究を決定、平成24年9月20日に贈呈式を行い、1研究につき100万円、総額2,000万円の助成金を贈呈した。助成対象者は【別表】のとおりである。

(2) 第21回「医学研究特別助成」

第43回研究助成（平成22年度）入選者の研究報告20件を対象とし、選考委員会を経て3研究を決定、第45回医学研究助成と同日の贈呈式で、1研究につき150万円、総額450万円の助成金を贈呈した。助成対象者は【別表】のとおりである。

<第1回からの助成金累計>

	平成24年度		累 計	
	件 数	助成金額	件 数	助成金額
医学研究助成	20件	2,000万円	859件	10億1,800万円
特 別 助 成	3件	450万円	78件	9,000万円
合 計	23件	2,450万円	937件	11億0,800万円

(3) 第43回「医学研究助成」研究報告の発表

第43回研究助成入選者の研究報告を、当事業団発行の「医学研究助成研究報告集」に掲載し発表した。

(4) 第46回「医学研究助成」（平成25年度実施）

平成25年1月、ホームページおよび毎日新聞に募集要項を掲載した。

また、推薦依頼機関(大学・研究機関)に募集要項を送付し、推薦を依頼した。

第46回研究課題は次のとおり決定している。

- ①慢性心不全の運動療法
- ②脳卒中急性期のリハビリテーション
- ③神経内分泌腫瘍肝転移の治療
- ④腫瘍形成型肝内胆管癌の治療成績の向上

*応募締め切りは平成25年5月10日。

第45回「医学研究助成」20研究 総額2,000万円/1研究100万円

- 研究課題 1. PTSD
 2. CKD患者の管理
 3. 下肢深部静脈血栓症の予防
 4. 多発性骨髄腫の治療

(課題別 研究者五十音順)

研究課題	研究者	研究主題
1	東京医科歯科大学難治疾患研究所 准教授 相澤 秀紀	ストレス感受性を制御する神経機構の研究
1	独協医科大学医学部 准教授 一杉 正仁 他2名	家族の予期せぬ死亡に起因したPTSDの現状と効果的対策について
1	愛媛大学上級研究員センター 特任講師 平田 務	扁桃体IntercalatedCellMassを標的としたPTSD治療のための基礎研究
1	星槎大学共生科学部 教授 細田 満和子 他5名	事例分析によるPTSDへの対応システムの構築—東日本大震災と原発事故に直面した子どもへのサポートの経験から
1	九州大学大学院医学研究院 助教 前川 敏彦 他1名	サブリミナル顔画像を用いたPTSD患者の恐怖ネットワークの解明
1	名古屋大学環境医学研究所 准教授 水野 哲也 他1名	PTSDにおける慢性神経炎症の関与とその制御方法の検討
2	京都医療センター糖尿病研究部 室長 浅原 哲子 他2名	肥満・糖尿病合併CKD患者の心血管リスク早期評価系確立に関する多施設共同研究—新規酸化LDLとシスタチンCの意義—
2	聖マリアンナ医科大学 講師 池森 敦子 他3名	モニタリングマーカー:尿中L-FABPを使用したCKD管理で得られるCKD進行の抑制効果と医療経済効果
2	浜松医科大学医学部 教授 北川 雅敏 他2名	慢性腎障害の新規分子標的の同定と予後診断、治療への応用
2	香川大学医学部 准教授 小堀 浩幸 他3名	高血圧患者において、尿中AGTは腎臓内RASを反映し、CKD患者の管理に有益な新規バイオマーカーとなる

研究課題	研究者	研究主題
3	神戸大学保健学研究科 助教 荒川 高光 他2名	深部静脈血栓症予防に向けたヒト足底の骨格筋3Dモデル作成
3	和歌山県立医科大学 教授 近藤 稔和 他2名	深部静脈血栓形成におけるサイトカイン・ケモカインの分子病理学的役割解析—新たな分子標的治療法の確立を目指して
3	東北大学病院 助教 齋藤 竜太 他3名	神経上皮性腫瘍摘出術後の静脈血栓塞栓症リスクファクターに関する前向き研究
3	中部大学生命健康科学部 講師 堀田 典生 他1名	下肢への一過性の静脈遮断と下肢の筋力トレーニングの組み合わせは下肢深部静脈血栓を抑制するか
3	神戸大学医学部附属病院 特定助教 安田 知行 他1名	深部静脈血栓症発症に及ぼす善玉コレステロール質的变化の影響～新規凝固系検査キットを用いた検討
4	自治医科大学分子病態治療研究センター 准教授 菊池 次郎 他1名	ホモピペラジン化合物による新規プロテアソーム阻害剤経口薬の開発
4	東海大学医学部 特任准教授 幸谷 愛	多発性骨髄腫におけるゲノム変異遺伝子AID
4	大阪大学大学院医学系研究科 講師 柴山 浩彦 他2名	PCR法を用いた多発性骨髄腫の骨髄微小残存病変(MRD)測定の妥当性の検討
4	三井記念病院 部長 高橋 強志 他2名	多発性骨髄腫患者におけるボルテゾミブ治療による免疫状態の変化
4	金沢大学医薬保健研究域 助教 高松 博幸 他3名	多発性骨髄腫微小残存病変新規検出法の確立とそれに基づく治療法の開発

第21回「医学研究特別助成」3研究 総額450万円/1研究150万円
 (第43回(平成22年度)「医学研究助成」研究報告を対象)

- 研究課題 1. 動脈硬化の新しいバイオマーカー(臨床研究)
 2. 術後リンパ浮腫の治療
 3. 認知症の早期診断
 4. 膵癌切除成績向上のための患者選択

(課題別 研究者五十音順)

研究 課題	研究者	研究主題
1	東北大学大学院医学系研究科 准教授 佐藤 公雄	動脈硬化プラーク破綻の新しいバイオマーカー発見と予防法の開発(臨床研究)
3	東京都医学総合研究所脳病理形態研究室 副参事研究員 内原 俊記	α シヌクレイン沈着の最早期病変と軸索内伸展からみるレヴィー小体病と認知症の早期診断
4	東京慈恵会医科大学消化器・肝臓内科 准教授 小井戸 薫雄	膵癌アジュバンド療法による患者選択

2. 健康増進啓蒙活動

生活習慣病の予防・啓蒙を目的とした一般参加型の講演会を、三井生命との共催で、以下のとおり開催した。

10月29日	所沢市（三井生命埼玉西支社）	参加者	50名
10月31日	札幌市（三井生命札幌支社）	参加者	135名
11月27日	品川区五反田（三井生命南東京支社）	参加者	46名
12月11日	浜松市（三井生命浜松支社）	参加者	57名
12月12日	町田市（三井生命町田支社）	参加者	62名
1月24日	静岡市（三井生命静岡支社）	参加者	73名

内容は、(株)タニタヘルスリンクによる、参加者の体組成の機械測定と、その結果数値の解説・健康改善方法（エクササイズ・料理レシピ）など、各々の参加者にとって具体的で分かり易いものとした。

なお6会場の参加者数は合計423名となり、昨年度の1会場参加者40名を大きく上回ることができた。

3. 公益法人制度改革への対応

平成20年12月1日より、公益法人制度改革3法が施行され、平成25年11月30日までの、5年間は新法人への移行期間と定められている。

今まで事業活動・機関設計、会計・財務・財産、情報公開、内部統制など、公益認定基準との整合性の確保を目指し検討を進め、平成22年12月には厚生労働省から「最初の評議員の選任方法」の許可書を取得した。

当初、検診事業を含めた事業内容で新公益法人への移行を検討してきたが、平成23年5月の理事会において検診事業の収束が決議され、医学研究助成および健康増進啓蒙活動の二つの事業内容で、新公益法人への移行を目指すことになった。

平成24年11月の理事会において、上記「最初の評議員の選任方法」に基づき、新公益法人移行時の最初の評議員候補者の推薦、および最初の評議員選定委員会メンバーの選任の決議を行い、最初の評議員選定委員会を平成25年1月に開催し、最初の評議員の選定を行った。

今後は、平成25年6月の移行申請を目指したスケジュールに沿って、諸規定の整備、予算の編成など、新公益法人への認定取得に向けた諸準備を進めて行く。

II. 理事会、評議員会に関する事項

第171回理事会 平成24年 5月17日(水)開催

- (1) 平成23年度事業報告、決算報告(収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表、財産目録)認定の件
原案どおり認定された。
- (2) 評議員推薦の件
津末博澄氏が再任された。

第47回評議員会 平成24年 5月17日(水)開催

- (1) 平成23年度事業報告、決算報告の件
- (2) 平成24年度事業計画、収支予算報告の件
(1)(2)とも全員の諒承を得た。
- (3) 理事および監事選任の件
理事には、大島剛氏、佐野陽子氏が再任された。

第172回理事会 平成24年 5月17日(水)開催

- (1) 理事長互選の件
理事長には、星田繁和氏が選任された。

第173回理事会 平成24年11月21日(水)開催

- (1) 平成24年度上半期事業報告の件
 - ①平成24年度上半期の事業概況および収支計算
 - ②平成24年度下半期の事業および収支計算見込み全員の諒承を得た。
- (2) 第46回「医学研究助成」事業計画決定の件
原案どおり決定された。
- (3) 最初の評議員選定委員会メンバーの選任の件
選定委員に五十嵐公靖氏、金沢俊弘氏、幸田正孝氏、出塚清治氏、濱野雅文氏の5名が選任された。
- (4) 最初の評議員候補者の推薦の件
最初の評議員候補者に朝比奈豊氏、北山禎介氏、幸田正孝氏、佐野陽子氏、津末博澄氏、萬年徹氏の6名が推薦された。

最初の評議員選定委員会 平成25年 1月29日(火)開催

- (1) 最初の評議員選定の件
選定委員により上記6名の候補者が、最初の評議員に選定された。

第174回理事会 平成25年 3月26日(火)開催

- (1) 平成24年度事業概況および収支計画見込み報告の件
- (2) 平成25年度事業計画および収支予算案決定の件
 - (1)については全員の諒承を得た。
 - (2)については原案どおり決定された。

III. 理事、監事、評議員の異動に関する事項

- (1) 理事 上村修三氏は平成24年5月17日に辞任された。
- (2) 星田繁和氏は平成24年5月17日、理事に就任された。